

つやま 作州ワイド版

未掲載の写真一堂に

広報津山「もったいない」展

にぎわい館 交流

津山市の広報紙に載せられなかった写真の展示する「広報津山」が、JR津山駅前で、秘書広報室の広報担当者が2019年12月号用に市内の行事や風景を取材し、撮りためた2万枚の中から、100枚を選んで張り出している。6月にあった山道を走るトレイルランニング大会「那岐ピークスタフト レイルチャレンジ」を撮影したものは、苦しいレース中でも笑顔でガッツポーズやピースをする参加者を捉えており、「皆さんすてきな笑顔がありがとうございました」と担当者コメントを添えている。



津山商工会館(津山市山下)の建て替えを準備する津山商工会議所の「新会館建設準備特別委員会」(山本俊彦委員長、15人)が、プレパークで遊ぶ子どもたちを撮った2枚は12月号の表紙候補。実際に採用されたサッカー大会「ラモスカップ」の写真も展示し、訪れた人にどれが

つやま検定挑戦しよう

津山市に関わるさまざまな知識を問うご当地検定「美作の国つやま検定」(山陽新聞社など共催)の実行委員会は、2月9日に津山商高(津山市山北)で開く第9回検定の参加者を募集している。(杉本明信)

来月9日

検定は、津山商工会議所青年部が2009年に行った「津山ふるさと検定」を、津山商高生でつくる商業クラブが引き継ぎ、12年から実施している。クラブの生徒らが歴史、文化、産業などの分野から出題。前身の検定から19年で10周年を迎えたことから、全50問の「一般型」に、全40問の「普及型」を加えた2部門に再編している。それぞれ40問、32問以上で合格となる。開催日は市制施行記念日(2月11日)から、2月第2日曜日に変更した。

実行委は、近年の受検

者数が伸び悩んでいることから、第9回以降は受検者が100人以下となった回の次の開催をもって終了するとしている。今回の問題を考えたメンバーの一人、3年杉山大成さん(18)は「津山の歴史を知ってもらえる問題も考えた。多くの若い人が受検し、津山への愛着を持ってほしい」と話して

いる。受検料は千円。27日までに郵便振替で実行委に申し込む。25日午前9時半~午後0時40分には津山商高で受検者向けの検定研修会を開く。定員30人。希望者は20日までに同高にファクス(0868-238492)する。参加費500円。問い合わせは同高(0868-22421)。



検定への参加を呼び掛ける津山商高の生徒

歴史、文化、産業 津山商高生が出題

岡山大学教育学部の東北地域教育プログラムで学ぶ学生らによる「グローアップ・パネルディスカッション」(同大教育学部など主催)が11日、津山市大田のグリーンヒルズ津山リージョンセンターで開かれ、東北における教育の展望について討論した。

岡山大学教育学部の東北地域教育プログラムで学ぶ学生らによる「グローアップ・パネルディスカッション」(同大教育学部など主催)が11日、津山市大田のグリーンヒルズ津山リージョンセンターで開かれ、東北における教育の展望について討論した。

県北の教育課題巡り討論

岡山大プログラム履修学生ら



県北の教育の課題とビジョンについて意見交換するパネリストら

プログラムを履修する1年生の代表者4人が、講義やフィールドワークを通じて気づいた点や今後の抱負を公表。「東北地域の教育の在り方を明確にするため、子どもや地域の人の声にもっと耳を傾けることが重要」「実習以外でも訪れ、地域の人と積極的に交

津山商工会館建て替え 準備特別委が初会合

構想や資金計画議論



津山商工会議所が新設した新会館建設準備特別委員会の初会合

津山商工会館(津山市山下)の建て替えを準備する津山商工会議所の「新会館建設準備特別委員会」(山本俊彦委員長、15人)が、プレパークで遊ぶ子どもたちを撮った2枚は12月号の表紙候補。実際に採用されたサッカー大会「ラモスカップ」の写真も展示し、訪れた人にどれが

表紙にふさわしいか、人気投票を行っていた。観光で初めて津山を訪れたという会社員藤牧泰希さん(27)「静あると感じた」と話した。岡県富士市は「子どもたちの笑顔がたくさん写っていて、楽しい。入館無料。20日はそなイベントが多く(休館。(山根上貴)

古筆や鉛筆100本供養

作樂神社 字の上達願う

長年愛用し、使い古した筆に感謝する恒例したせんざいを振る舞った。「筆まつり」が14日、津山市神戸の作樂神社で開かれた。古筆を浄火にくべ、住民らが字の上達や書道の振興を願った。

福田景門司(92)が筆や鉛筆など約100本を神前にささげ、祝詞を奏上。境内の一角で正月飾りや破魔矢、書き初めとともに火をつけて供養し、約80人の参拝者が見守った。

作樂神社は、後醍醐天皇が隠岐に流される際に宿泊したとされる院庄館跡(国史跡)に1869年に創建された。後醍醐天皇が能筆だったことや、天皇を慰めるために武将・児島高德が境内の桜の木に詩を書いた故事にちなみ、1981年から14日に行うとんど焼きに合わせて毎年開いている。



筆や鉛筆を供養する浄火を見守る住民ら

前田泰宏・中小企業庁長官を講師に迎える。時間は午後3時~5時。定員は300人。希望者は20日までに申し込む。(0868-23141)

よう

津山市の広報紙に載せられなかった写真の中で、担当職員が「お蔵入りにするのはもったいない」と感じたもの(山)で開かれている。

会場に展示している広報紙に載せられなかった写真



津山市の広報紙に載せられなかった写真の展示する「広報津山」が、JR津山駅前のにぎわい交流館(横山)で開かれている。

22日まで。昨年(2019年)に続き2回目。秘書広報室の広報担当者が2019年12月号用に市内の行事や風景を取材し、撮りためた2万枚の中から、100枚を選んで張り出している。6月にあった山道を走るトレイルランニング大会「那岐ピークスタフトレイルチャレンジ」を撮影したものは、苦しいレース中でも笑顔でガッツポーズやピースをする参加者を捉えており、「皆さんすてきな笑顔がありがとうございました」と担当者コメントを添えている。

会費は千円。27日まで更振替で実行委に申し25日午前9時半～午後4時40分には津山商高で者向けの検定研修会を定員30人。希望者はまでに同高にファクス(828492)する。参加費)円。問い合わせは同高(086821)。



津山商高の生徒

津山商工会館建て替え 準備特別委が初会合

構想や資金計画議論



津山商工会議所が新設した新会館建設準備特別委員会の初会合。津山商工会館(津山市山下)の建て替えを検討する津山商工会議所の「新会館建設準備特別委員会」(山本俊彦委員長、15人)が、議論をスタートさせた。初会合では地方創生を踏まえた総合産業会館の建設を目指す方向性を申し合わせており、今後は実現に向けて議論を深める。

委員会は昨年11月に設置し、9日の初会合には委員13人が出席した。山本委員長が「国際ホテルが移転し、城下が大きく変わろうとしている。この機に会館移転を考えたい」として、浮田芳典担当副会頭が「地方創生のタイミングも意識し、新会館の構想や事業計画を取りまとめ、完成を目指そう」と呼び掛けた。

津山商工会議所は、津山で28日講演中小企業庁長官津山で28日講演津山商工会議所は、28日に中小企業の未来をテーマにした新春講演会を津山鶴山ホテル(津山市東新町)で開いた。前田泰宏・中小企業庁長官を講師に迎え、時間は午後3時から5時。定員は300人。誰でも受講できる。希望者は20日までに(0868233141)に申し込む。

津山商工会館(津山市山下)の建て替えを検討する津山商工会議所の「新会館建設準備特別委員会」(山本俊彦委員長、15人)が、議論をスタートさせた。初会合では地方創生を踏まえた総合産業会館の建設を目指す方向性を申し合わせており、今後は実現に向けて議論を深める。

津山商工会議所は、津山で28日講演中小企業庁長官津山で28日講演津山商工会議所は、28日に中小企業の未来をテーマにした新春講演会を津山鶴山ホテル(津山市東新町)で開いた。

福田景門宮司(92)が筆や鉛筆など約100本を神前にささげ、祝詞を奏上。境内の一面で正月飾りや破魔矢、書き初めとともに火をつけて供養し、約80人の参拝者が見守った。

作樂神社は、後醍醐天皇が隠岐に流される際に宿泊したとされる院庄館跡(国史跡)に1869年に創建された。後醍醐天皇が能筆だったことや、天皇を慰めるために武將・児島高德が境内の桜の木に詩を書いた故事にちなみ、1981年から14日に行うとんど焼きに合わせて毎年開いている。



筆や鉛筆を供養する浄火を見守る住民ら

討論

東北の教育の課題とビジョンについて意見交換するパネリストら

流したい」などと述べた。パネルディスカッション